



鶴小だより

学校教育目標 やさしく かしこく たくましく

4月号

校長 秋元 江利子

ご入学・ご進級おめでとうございます



木々の若芽が膨らみ、新しい季節の始まりを告げています。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。元気いっぱいの新1年生81名を迎え、全校児童558名で令和5年度のスタートです。

春休み中に嬉しいことがありました。それは準備登校で新入生をあたたく迎えようと6年生が一生懸命働いてくれたことです。短い時間ではありましたが、最高学年となる意識と意欲を感じました。生き生きとした子供たちの姿は保護者の方や地域の方のあたたかな支えによるものだと感じております。年度替わりにあたり、あらためて、本校に在籍する558名の子供たち一人一人の人生をお預かりする責任者として身の引き締まる思いです。今年度もどうぞよろしくお願い致します。

～やさしく・かしこく・たくましく～

一人一人の子供のよさや可能性を導く鶴ヶ丘小学校

私の目指す学校像は「一人一人の子供のよさや可能性を導く学校」です。私はすべての子供が元々「できるようになりたい」「がんばりたい」「伸びたい」と願っていると思っています。その願いを叶えるためには「大人の適切な関わり」が重要です。子どもの小さな努力も見逃さず「認める」「褒める」ことを大切にし、子どもの意欲を喚起していく学校を目指します。子供の意欲は大人の想像を遥かに超えた成長につながると確信しております。小さな種にはたくさんの養分がつまっています。目には見えなくても土の中で芽が出るその時を待っています。時に見守り、時に水や肥料を与えながら、保護者の皆様・地域の皆様と共に子供たちの成長を楽しみたいと考えております。

職員一同、精一杯教育活動に邁進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

《基本方針》 すべての子供に安心感と充実感を～

～私達鶴ヶ丘小学校職員は、以下のことを通じて「あたたかな居場所づくり」に努め、お子様のよさと可能性を導いてまいります～

◆信頼を得る

- ・わかる授業を毎日積み重ねることに努めます
- ・困っていることや頑張っていること等に心を配り正しく理解するように努めます

◆共感する

- ・話に耳を傾け受け止めます
- ・共に考え、共に喜ぶよう努めます

◆感動を与える

- ・実態に合わせた取組を積み重ねることに努めます
- ・学びや成長をわかりやすく伝えるよう努めます

